

島根原子力発電所耐震安全性評価に係る 古浦沖における海上音波探査の実施について

当社は、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」が平成18年9月に改訂されたことを踏まえ、改めて地質調査を実施し、本年3月28日、島根原子力発電所の耐震安全性評価結果中間報告書を原子力安全・保安院に提出しました。

現在、国による確認が行われているところですが、この確認過程において、央道断層の西方延長に位置する松江市鹿島町古浦沖について、「後期更新世以降の活動性については、より精度の高い音波探査記録等で確認すること」との指摘がありました。

当社はこれまでに実施した海上音波探査等により古浦沖における最近の断層活動はないものと考えておりますが、今回の指摘を踏まえ、地域の皆様に安心していただくために、最新の手法を用いた海上音波探査を追加実施して活動性を再度確認することとしました。

今後、調査計画をとりまとめ、準備が整い次第、調査を開始する予定です。

以上

関連リンク

・[原子力発電\(環境@エネルギー\)](#)